



electronica India



productronica India



Messe München

ファイナルレポート

国際電子部品・アセンブリ・マテリアル専門見本市
国際電子部品製造技術専門見本市
インド / バンガロール国際展示会場およびオンライン
2021年12月16日～18日

2021年12月21日

インド エレクトロニクス業界の再開は成功裏に完了

Summary

- productronica India、electronica India、IPCA Expo、MatDispens はインド・バンガロールの展示会場 BIEC で同時開催され、8,255 人が来場
- レベルの高い併催プログラムでは知識交換が活発に展開 – ビジネスネットワークの再開を後押し
- リアルとオンラインのハイブリッド開催 – 現地開催に加えてオンラインによる出展や入場も可能に



Facts & Data

会 期	2021年12月16日(木)～18日(土) 午前10時～午後6時
会 場	バンガロール国際展示会場 / オンライン Bangalore International Exhibition Center (BIEC)
主 催	Messe München - メッセ・ミュンヘン Messe Muenchen India Pvt. Ltd. - メッセ・ミュンヘン・インド
出 展 規 模	(2019年:32,000㎡)
出 展 企 業	138社(2019年:18カ国から674社)
来 場 者 総 数	8,255人(2019年:26,310人)(※) electronica India、productronica India、IPCA Expo、MatDispens と併催の LASER World of PHOTONICS INDIA、SmartCards Expo 来場者数合計
主 な 出 展 品	<electronica India> : 半導体、センサー、リレー・スイッチ・配線技術、受動部品、モーター・駆動部、ケーブル、アセンブリ・サブシステム、ED/EDA、検査・測定技術、ディスプレイ、電源装置 <productronica India> : 電子部品製造、一般業務支援・製造サブシステム、PCB 及びその他電気回路用製造装置及びロジスティック、ケーブル加工技術アセンブリ・モジュール・ハイブリッド用製造装置及びロジスティック、材料加工、パッケージング、製造関連サービス、はんだ付け技術
出展日系企業 (公式出展企業として登録されている企業のみ)	electronica India : (株)エミー (Online)、スミダコーポレーション(株) (Online)、ヒロセ電機(株) (Online)、ローム(株) (Online) productronica India : 協立電機(株) (Onsite)、(株)ディスコ (Onsite)、日本オートマチックマシン(株) (Online)、(株)日立ハイテク (Hybrid)、マイクロクラフト(株) (Onsite) 他
専 用 U R L	www.electronica-india.com / www.productronica-india.com

12月16日から18日まで、productronica India、electronica India、IPCA Expo、MatDispens はインド・バンガロールの Bangalore International Exhibition Centre (BIEC)において2年ぶりにリアル形式で開催され、138社の企業が出展し、最新製品や革新技術を紹介した。会場は8,255人(※)の訪問者によってビジネス再開の熱気に溢れた。

(※) electronica India、productronica India、IPCA Expo、MatDispens と併催の LASER World of PHOTONICS INDIA、SmartCards Expo 来場者数合計



主催者であるメッセ・ミュンヘン・インドの CEO ブッピンダー・シンは、「electronica India、productronica India、IPCA Expo、MatDispens をリアル形式で開催し、出展者、パートナー、バイヤーに、ビジネスの成功に貢献するプラットフォームを再び対面形式で提供できたことを大変嬉しく思う。会場はビジネスを推し進める自信と熱気で溢れていた」と話した。

カルナータカ州の科学・技術・高等教育・エレクトロニクス&IT・バイオテクノロジー省大臣の Ashwithnarayan C.N (Dr.)氏は、会期の最終日

に、「インド政府及び電子情報技術省(MeitY)は、インド国内におけるハードウェア製造の成長に大きく貢献してきている。

これまで、多くの企業に対して成長に向けた様々なスキームやインセンティブを提供しており、特に半導体製造のスキームである PLI、SPEC は注目すべきものとなった。この成果によってインドは技術的な自立と経済成長を図ることができ、インドエコシステムの成長促進につながった。

MeitY とビジョンを一致させている electronica と productronica は、今後のインド経済の発展に欠かせない見本市であり、カルナータカ州政府を代表して今回の成功を祝福する」と語った。

メッセ・ミュンヘンの副 CEO ラインハルト・ファイファーは、「ビジネスの活気溢れる見本市会場を再び見ることができ、とても嬉しく思う。参加されたすべての皆さまからいただいた信頼とご協力に深く感謝申し上げます」と加えた。

対面の重要性を再確認

すべての出展者、来場者、バイヤー、そしてパートナーは、会場で再び対面して話し合うことができる機会を待ち望んでいた。Kurtz Ersa India の Sameer Verma 氏は、「会場で多くの人に会えて、アイデアの交換ができたことを大変嬉しく思う。特に弊社の新しい技術や製品を多くの業界関係者に実際に見てもらったことができたことはこの上ない収穫である」と話した。

充実した併催プログラム

多くの出展者は、参加会場内にとどまらず質の高い併催プログラムでも多くの交流を持った。プログラムのテーマは市場のニーズに合わせて選定された。会議セッション、CEO フォーラム及び PCB Tech では、「1兆ドルのデジタル経済 - 進歩への道」や「PCB 製造への投資 - 景気回復の兆しとなる 10億ドルの機会」といったトピックに焦点が当てられた。

ハイブリッド開催 - 現地開催に加えてオンラインによる参加も可能

今回は現地開催だけでなくオンラインによる出展や入場も可能にし、多くの主要企業や技術リーダー、インフルエンサーなどがオンライン参加した。Mouser Electronics の Saswati Ray 氏は、「オンラインプラットフォームは、ビジネス戦略を検証するための革新的技術や新しいアイデアを生み出し、新しい潜在顧客へのアプローチを可能にした」と語った。

オンラインのプラットフォームにも多くの人が企業情報や製品、サービスについてアクセスしており、B2B のミーティングも多く開催された。

次回の electronica India、productronica India は 2022 年 9 月 21 日から 23 日、デリー近郊のグレート・ノイダで開催される。

見本市の詳細情報並びに写真は、専用ホームページをご参照ください：

electronica India: www.electronica-india.com

productronica India: www.productronica-india.com

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先：

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)